

危機管理課

○ 防災関係

1 災害対策本部関係

伊勢市地域防災計画に基づき、災害の防止・軽減・応急対策を迅速に実施するため、災害対策本部を設置した。

(1) 本部設置回数 3回

設置年月日	警報・注意報名	備考
3. 8. 17 (火)	大雨 (土砂災害) 警報	
3. 9. 17 (金) ～ 9. 18 (土)	大雨 (土砂災害) 警報、波浪・強風・雷・高潮注意報	台風第14号
4. 1. 16 (日)	津波注意報	トンガ沖噴火

2 災害対策本部の体制強化

(1) B C M (伊勢市業務継続マネジメント) 定例会の開催

各部、各チームが主体性を持ってB C Mに取り組むためにB C M定例会を開催し、課題に対する対策の進捗状況について報告等を行った。本年度より配布資料は全て電子化し、参加者はタブレット端末等で資料確認を行った。また、伊勢市業務継続計画 (新型コロナウイルス感染症対策編) についても情報共有し、課題の抽出を行った。

ア 第9回B C M定例会

- ・実施年月日 令和3年10月18日 (月)
- ・参加者 市長、副市長、各チーム長及び部局長、各総合支所長
- ・講評者 水木 千春 氏 (三重大学)

イ 第10回B C M定例会

- ・実施年月日 令和4年3月29日 (火)
- ・参加者 市長、副市長、各チーム長及び部局長、各総合支所長
- ・講評者 川口 淳 氏 (三重大学)

(2) 図上訓練 (初動対応訓練) の実施

災害対策本部の実施体制の習熟度を上げるため、災害対策本部となる防災センターでの災害対策業務を経験することを目的に職員を対象とした図上訓練を次のとおり実施した。

また、勤務時間外の地震発生を想定し、居住場所に応じた場所に参集し、本部員会議の開催までの初動対応訓練を実施した。

ア 第1回図上訓練

- ・実施年月日 令和3年8月4日 (水)
- ・参加者 187名 (午前 94名、午後 93名)

- ・ 講評者 川口 淳 氏（三重大学）
- ・ 訓練内容 災害対策本部における情報共有のルール確認や災害対応の目標の企画・立案方法を理解することを目的として、令和元年度東日本台風で得られた教訓を学ぶための訓練を実施した。

イ 第2回図上訓練（初動対応訓練）

- ・ 実施年月日 ①令和4年1月12日（水）
②令和4年3月25日（金）
- ・ 参加者 ①75名（防災センター 36名、小俣総合支所 39名）
②70名（防災センターのみ）
- ・ 講評者 ①川口 淳 氏（三重大学）
②水木 千春 氏（三重大学）
- ・ 訓練内容 勤務時間外に地震が発生したことを想定し、職員の居住場所に応じて参集し、初動対応訓練を実施した。1回目は小俣総合支所と防災センターへの2か所へ分散参集、2回目は防災センターのみに参集し、それぞれ発災後の災害対策本部の設置及び本部員会議開催までの初動対応を実施した。

3 自主防災隊補助事業

伊勢市自主防災補助金等交付要綱に基づき、防災資機材や備蓄食料等の整備及び訓練に対し、次のとおり補助金及び助成金を交付した。

- | | | |
|---------------|-------|---------------|
| (1) 自主防災組織結成数 | 134 隊 | (令和4年3月31日現在) |
| (2) 訓練助成金 | 64 件 | 1,920,000 円 |
| (3) 防災補助金 | 138 件 | 17,532,000 円 |
| ア 自治会 | 50 件 | 4,211,000 円 |
| イ 自主防災組織 | 88 件 | 13,321,000 円 |

4 地域防災力向上支援事業

(1) 防災講習・防災訓練の実施

南海トラフ地震等の大規模地震の発生が危惧されている中、地域における防災の取組みを促進するため、自治会、自主防災組織、まちづくり協議会及び小中学校や高校、企業等からの要請に応じ、感染防止対策を講じたうえで、防災講習や防災訓練指導を実施した。

- ア 実施回数 61回
- イ 参加人数 2,681名
- ウ 実施内容
 - ・ 緊急時の行動や家庭内での防災対策の説明
 - ・ 児童、生徒、従業員等への防災教育
 - ・ 災害時の避難行動訓練指導

(2) 地域防災マップ作成事業

住民が災害に強いまちづくりを行うことを目的として、防災について話し合い、顔の見える

る関係を作り、地域課題の共有や改善を行うため、地域住民の力で行うタウンウォッチングを実施し、地域防災マップの作成を行っている。

令和3年度は自治会への説明会を実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域でのタウンウォッチングの開催が難しく、マップの作成実績はなかった。

ア 説明会 令和3年7月4日（日）・23日（金） 御菌公民館

イ 参加自治会 4自治会（西本町自治会・大久保自治会・八日市場自治会、上久保自治会）

ウ 作成実績 0件

（3）高齢者等宅家具固定事業

過去に発生した大規模な地震では、住宅内の家具の転倒により多くの死傷者が発生した。特に高齢者、障がい者の方が被災されるケースが多数見受けられたため、高齢者等を対象に家具固定事業を実施した。

ア 実施件数 19件

イ 申込期間 令和3年8月2日（月）～令和4年2月28日（月）

（4）自主防災隊リーダー研修会の開催

地域の自主防災組織活動の中心的役割を担うリーダーの育成を図るため、伊勢市防災大学の講習と合わせて研修会を防災センターで実施し、気象情報の読み取り方や情報を基に自らの避難のタイミングを考える方法などを学習した。

ア 実施年月日 令和3年8月22日（日）

イ 研修内容 防災講演 「避難スイッチ」

講師 竹之内 健介 氏（香川大学）

（5）伊勢市防災コーディネーター事業

市民の防災活動の普及・防災意識の高揚を図るため、防災士資格を持つ市民の中から防災コーディネーターを認定し、地域の防災啓発活動のサポート等を行った。

伊勢市防災コーディネーター 39名（令和4年3月31日現在）

（6）親子防災イベント（中止）

夏休みを利用し、小学生及びその保護者を対象に防災センターにおいて、非常食の試食や応急手当の体験、避難所疑似体験などを通じ、災害に対する備えについて学び、防災に対する意識の向上を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

5 防災センター運営事業

平成28年4月1日にオープンした伊勢市防災センターは、市民の防災に関する知識の普及及び技術の向上並びに防災意識の高揚を図るとともに、災害時における災害対策本部として運用しており、防災の拠点として施設の管理、運営を行った。

（1）管理運営方法

市が直接管理し、使用料は無料で運営している。（12月28日から翌年1月4日までは休館）

(2) 利用状況

(単位：人)

年度	体験 学習室	研修室1	研修室2	研修室3	多目的 ホール	小計	イベント	合計
H28	8,055	3,226	214	236	4,023	15,754	2,300	18,054
H29	6,444	4,796	261	605	3,673	15,779	1,550	17,329
H30	6,187	4,238	240	597	4,825	16,087	1,700	17,787
R元	6,526	4,023	314	313	5,235	16,411	1,550	17,961
R2	2,586	1,859	173	191	3,070	7,879	0	7,879
R3	3,388	2,751	451	219	4,007	10,816	0	10,816

(3) 実施イベント

ア 消防・防災フェスタ（中止）

消防本部と共催で「消防・防災フェスタ」を令和3年6月6日（日）に防災センターで開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

イ 救急と災害を考える集い（中止）

伊勢地区医師会・伊勢保健所等と共催で「救急と災害を考える集い」を令和3年9月5日（日）に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

(4) 伊勢市防災大学

防災について、総合的に学ぶ機会を提供し、防災知識の豊富な人材を育成し、地域の防災力向上及び災害に強いまちづくりを支援するため、伊勢市防災大学を開校した。

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、講師はオンラインとし、受講者も会場や自宅でのオンラインで受講した。

回	日時	内容	講師
第1回	7月18日（日）	・開校式 ・防災講演	三重大学 川口 淳 氏
第2回	8月22日（日）	・防災講演 「避難スイッチ」	香川大学 竹之内 健介 氏
第3回	10月17日（日）	・防災演習 「クロスロードゲーム」	伊勢市防災コーディネーター
第4回	11月28日（日）	・語り部講話 「私が体験した東日本 大震災」	一般社団法人 南三陸町観光 協会 語り部（講師） 佐藤 慶治 氏
第5回	1月22日（土）	・防災講演 「災害時のこころのケア」	兵庫県こころのケアセンター 大澤 智子 氏
第6回	2月20日（日）	・防災食クッキング	だんだんキッチン 大須賀 由美子 氏
第7回	3月13日（日）	・修了式 ・学んだこと発表会	

6 備蓄物資整備事業

伊勢市備蓄計画に基づき非常用食糧等を購入・更新し、物資及び資機材の整備を行った。また、

避難所における新型コロナウイルス感染症対策として衛生資材の購入を行った。

(1) 購入関係

種類	品目	R3購入	備蓄総量	備蓄目標
食糧	ビスケット	17,150食	61,978食	71,065食
	お粥	2,350食	12,722食	11,521食
	粉ミルク (13g/本)	14,400本	24,400本	28,480本
	液体ミルク (240ml)	720本	720本	720本
飲料水	ペットボトル (500ml)	40,248本	230,941本	555,345本
生活必需品	アルミシート (簡易毛布)	8,400枚	61,324枚	83,422枚
	紙おむつ (子ども用)	22,220枚	67,850枚	66,532枚
	紙おむつ (大人用)	9,282枚	33,252枚	27,814枚
	生理用品	12,900枚	73,074枚	142,647枚
	使い捨て哺乳瓶	2,070本	7,070本	9,687本
避難生活施設 運営資機材	LED投光機 (バルーン型含む)	21台	190台	225台
	発電機付投光機	7台	14台	

※ビスケット及び飲料水には職員用備蓄も含む。

(2) 衛生資材の購入

種類	品目	R3購入	備蓄総量
衛生資材	マスク	—	55,000枚
	ガウン	1,500着	4,290着
	手指消毒液	—	336本
	手指消毒液 (詰め替え)	—	60本
	ハンドソープ	—	393本
	消毒液	—	60本
	消毒液用ボトル	—	288本
	消毒液用ボトル (ノズル)	—	288個
	プラスチックグローブ	12,000枚	15,600枚
	フェイスシールド	900個	3,493個
	ペーパータオル (1パック200枚)	—	520パック
	レジャーシート	2,000枚	5,205枚

7 防災行政無線管理運用事業

災害時における住民への適切な情報伝達手段である防災行政無線を適切に運用するため、既存の屋外拡声子局のバッテリー交換を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市地内	防災行政無線屋外拡声子局バッテリー交換等業務委託	バッテリー交換 36か所 機器調整 一式	円 8,250,000	3. 9.13	4. 3.1

8 災害協定の締結

民間事業所等と災害時の応援協定を次のとおり締結した。

締結先	締結年月日	協定の名称
社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会	3. 4. 1	災害時等に福祉避難所として施設等を使用することに関する協定書
社会福祉法人 邦栄会	3. 4. 1	災害時要配慮者の福祉避難所として施設等を使用することに関する協定
コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社ベンディング三重支店	3. 5. 1	災害対応型自動販売機設置協定
エリアワンエンタープライズ株式会社	3. 8. 3	災害時における災害時要配慮者に対する宿泊施設等の提供に関する協定書
株式会社 セレモ	3. 9. 15	災害時の葬祭業務に関する協定
ケアメディカルジャパン株式会社	3.10.12	災害時に医療的配慮が必要な在宅酸素療養者等に対する支援に関する協定
稲穂株式会社	3.10.13	災害時における無人航空機による情報収集に関する協定
MEIWA DRONE WORKS	3.10.13	災害時における無人航空機による情報収集に関する協定
株式会社 石垣 名古屋支店	3.11.15	災害時における下水道施設の応急復旧に関する協定書
株式会社 ファノバ 中部支店	3.12. 2	水道施設の災害に伴う応援協定書
株式会社 キング観光	4. 1. 25	大規模災害時における駐車場の一時使用に関する協定書
生活協同組合コープみえ	4. 3. 9	災害時における支援協定に関する協定書

(注) 令和3年度末 協定締結数 135件

9 災害用民間井戸登録の普及

災害時における生活用水の確保と市民の防災意識の向上を図るため、災害用井戸を募集し、水質検査完了後に登録を実施した。登録後の災害用井戸は、ホームページに公表するとともに自治会役員等に周知した。

(1) 登録件数 (令和3年度末) 253件 (前年度比 8件増)

(2) 募集期間 令和3年5月6日(木)～令和3年11月30日(火)

10 避難所感染防止対策事業

避難所における新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の一環として感染対策資機材の購入と、伊勢市避難所モデル検証訓練を実施した。

(1) 避難所感染対策資機材の購入

品目	R3購入	備蓄総量
簡易ベッド	370個	470個
パーテーション	458個	600個
非接触式検温器	20台	20台
アルミマット	600枚	600枚

(2) 伊勢市避難所モデル検証訓練

- ・実施年月日 令和3年6月17日(木)
- ・実施場所 旧大湊小学校
- ・参加者 約100名(市職員、県職員、地域住民)
- ・講評者 磯和 勅子 氏(三重大学)、水木 千春 氏(三重大学)
- ・内容 新型コロナウイルス感染症対策を実施した避難所での受付、避難誘導、避難者の分けなどを実施した。

○ 危機管理関係

1 新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

国内外で感染が拡大している新型コロナウイルス感染症に対し、「伊勢市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、感染防止対策や市民に対する支援や補助など市の方針決定などを実施している。

ア 実施回数

令和元年度 15回(令和2年1月～3月)

令和2年度 17回(令和2年4月～令和3年3月)

令和3年度 11回(令和3年4月～令和4年3月)

イ 内容

感染防止対策の徹底、市主催イベント基準の作成、公共施設の貸館等の取扱い、大型連休や年末年始の観光対策、市民・事業者への各種支援、職員の勤務体制などの方針等の決定や情報共有など

○ 防犯関係

1 伊勢市防犯推進協議会

「伊勢市防犯活動の推進に関する条例」の目的を達成するために、事業計画を策定し、市民の防犯意識の高揚と自主防犯活動の推進を図り、より安全で安心できる市民生活の確保に努めた。

(1) 地域安全講習会

年々増加する特殊詐欺事案や不審者からの声かけ事案を未然に防止するため、自治会、老人会、幼稚園、保育園等へ出向し講習会を開催した。

開催回数：24回 受講者数：1,043人(内訳：大人248人、幼児795人(保護者含む。))

- 内 容
- ・防犯DVDや特殊詐欺事案の寸劇による啓発(振り込め詐欺など)
 - ・伊勢警察署員及び伊勢度会地区生活安全協会職員による管内の犯罪等の発生状況、事例に沿った犯罪の手口とその対策方法について寸劇を行った。
 - ・防犯アドバイザーによる地域の防犯対策について講話を行った。
 - ・子供連れ去り事案防止教育の「いかのおすし」を題材とした紙芝居ビデオ及び「五つの約束」について園児に対し分かりやすい講話を行った。

(2) 防犯パトロール

児童・生徒の下校中に発生している不審者の声かけ事案等について、被害防止を図るため、社会教育課と連携し、青色回転装備車で防犯パトロールを実施した。

実施回数：119回(危機管理課：60回、社会教育課：59回)

(3) 防犯情報による啓発

伊勢警察署や市内の学校から寄せられた不審者情報や振り込め詐欺情報、犯罪発生情報の「防犯情報」を、防犯メール登録者に配信し、注意喚起と啓発を実施した。

配信回数：17回

(4) 防犯情報の提供及び対応

警察等からの不審者情報や振り込め詐欺情報を自主防犯団体や関係機関へ情報提供し、パトロール活動や注意喚起を要請した。

(5) 防犯推進地区

地域住民が防犯に対する理解と認識を深め、連帯意識を高めて、自主的な地域安全活動を推進できるよう地区を指定し、自主的な防犯活動の支援を行った。

指定期間：令和2年度～令和3年度 指定地区：桜木町自治会

指定期間：令和3年度～令和4年度 指定地区：馬瀬町内会、中須町坂東自治会

2 伊勢市自主防犯団体連絡会

自主防犯団体相互の連携と資質の向上に積極的に取り組み、伊勢市内の防犯パトロール活動の活性化と市民の防犯意識の高揚を図った。

(1) 街頭啓発活動（中止）

毎月第1、第3金曜日に合同（伊勢警察署、伊勢度会地区生活安全協会、伊勢市自主防犯団体連絡会）で、大型店舗前で街頭犯罪や振り込め詐欺等の特殊詐欺被害防止のため、街頭啓発を行っているが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

(2) 全国地域安全運動（中止）

全国地域安全運動の期間中（令和3年10月11日～令和3年10月20日）に伊勢警察署及び伊勢度会地区生活安全協会、伊勢市自主防犯団体連絡会と合同で、伊勢市駅、宇治山田駅前周辺での啓発活動を行っているが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

(3) 安全安心フォーラム in 伊勢講演会（中止）

地域住民が防犯意識を高め、地域ぐるみで防犯活動に取り組むことで、より安全で安心なまちをめざすための講演会を開催しているが令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

3 防犯灯LED化推進事業

夜間に路上で発生する犯罪等を防止するため、防犯灯の設置及び省エネ効果が高いLED灯への取替えを推進するとともに、自治会が所有する防犯灯の整備等の補助金及び助成金を交付し、地域の防犯環境の整備を支援した。

(1) 防犯灯に係る補助金及び助成金交付

- ・防犯灯新設 88灯 (旧伊勢49灯、旧二見13灯、旧小俣19灯、旧御菌7灯)
 - ・LED取替 162灯 (旧伊勢113灯、旧二見25灯、旧小俣6灯、旧御菌18灯)
 - ・防犯灯修繕 40灯 (旧伊勢34灯、旧二見1灯、旧小俣2灯、旧御菌3灯)
 - ・防犯灯電気代 13,596灯 (旧伊勢9,848灯、旧二見911灯、旧小俣1,976灯、旧御菌861灯)
- (注) 13,596灯のうち13,546灯がLED灯への取替えが完了し、LED化率は99.6%となった。

(令和4年3月31日現在)

4 防犯カメラ設置推進事業

安全で安心なまちづくりを推進するため、防犯対策の一環として、防犯カメラを設置する自治会に補助金を交付し、地域の防犯環境の整備を支援した。

(1) 防犯カメラに係る補助金交付

- ・防犯カメラ新設 53台 (旧伊勢34台、旧二見2台、旧小俣14台、旧御菌3台)

(注) 防犯カメラ設置台数は、令和2年度の72台と合計し125台となった。

(令和4年3月31日現在)

5 犯罪被害者等支援事業

犯罪行為に遭った被害者等の精神的負担の軽減を行うために、総合窓口として相談に応じて各関係機関等の適切なサービスを提供した。また、経済的な負担については、支援金や日常生活または生活を円滑に営むことができるように、転居費用等の一部を支援した。

(1) 実績

ア 対応実績

- ・相談件数：2件

イ 給付実績

- ・支援金 : 25,000円 (1件)
- ・助成金 : 300,300円 (転居、家賃 各1件)

(2) 支援金制度

犯罪被害者及びその家族(遺族)が事件直後に必要となる経済的負担の軽減を図るため、支援金を給付する。

- ・遺族支援金 犯罪被害者の第一順位の遺族 300,000円
- ・重傷病支援金 犯罪被害者本人 100,000円
- ・精神療養支援金 犯罪被害者本人 25,000円

(3) 助成金制度

犯罪被害により、日常生活及び住居安定に支障がある犯罪被害者及びその遺族に対して、助成金を給付する。

- ・家事援助助成金 上限額：3,000円/時間×30時間
- ・一時保育助成金 上限額：3,000円/日×5日
- ・転居助成金 上限額：200,000円×1回
- ・家賃助成金 家賃月額×1/2×上限額：30,000円/月×6カ月

防 災 施 設 整 備 課

○ 避難所等整備事業

1 避難生活施設等の環境整備

災害時に避難者が利用する避難生活施設等の環境整備を実施した。

(1) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
佐八町 地内	佐八小学校避難所 施設整備工事	マンホールトイレ等の 整備一式	円 19,450,200	3. 5. 21	3. 9. 30
上野町 地内	(注1) 上野小学校避難所 施設整備工事	マンホールトイレ等の 整備一式	22,058,300	3. 5. 21	3. 9. 30
小俣町 相合 地内	(注1)(注2) 小俣中学校避難所 施設整備工事	マンホールトイレ等の 整備一式	43,583,100	3. 6. 4	3.12.15
一志町 地内	(注1) 厚生小学校避難所 施設整備工事	マンホールトイレ等の 整備一式	27,060,000	3. 6. 4	4. 3. 15
常磐 3丁目 地内	(注1)(注2) 早修小学校避難所 施設整備工事	マンホールトイレ等の 整備一式	31,831,800	3. 6. 11	4. 1. 6
中村町 地内	(注3) 五十鈴中学校屋内 運動場トイレ改修 工事	バリアフリー改修一式	4,348,300	3. 6. 25	3. 8. 23
"	(注1) 五十鈴中学校避難 所施設整備工事	マンホールトイレ等の 整備一式	58,084,400	3. 7. 2	4. 3. 15
上野町 地内	上野小学校災害用 マンホールトイレ 保管庫設置工事	災害用マンホールトイレ 保管庫 1棟	1,287,000	3. 7. 13	3. 9. 3
佐八町 地内	佐八小学校災害用 マンホールトイレ 保管庫設置工事	災害用マンホールトイレ 保管庫 1棟	748,000	3. 7. 14	3. 9. 2
宮後 1丁目 地内	厚生小学校災害用 マンホールトイレ 保管庫設置工事	災害用マンホールトイレ 保管庫 1棟	822,800	3. 7. 19	3. 9. 6
常磐 3丁目 地内	(注4) 早修小学校災害用 マンホールトイレ 保管庫設置工事	災害用マンホールトイレ 保管庫 1棟	847,000	3. 7. 30	3. 9. 27
栗野町 地内	城田中学校避難所 施設整備工事	マンホールトイレ等の 整備一式	27,033,600	3. 7. 30	3.12.21

上野町 地内	(注3) 旧沼木中学校屋内 運動場トイレ改修 工事	バリアフリー改修一式	円 1,870,000	3. 9. 3	3.11. 1
小俣町 相合 地内	(注4) 小俣中学校災害用 マンホールトイレ 保管庫設置工事	災害用マンホールトイレ 保管庫 1棟	1,045,000	3. 9.22	3.11.19
中村町 地内	五十鈴中学校 災害用マンホール トイレ保管庫設置 工事	災害用マンホールトイレ 保管庫 1棟	1,155,000	3. 9.29	3.12. 1
佐八町 地内	(注3) 佐八小学校屋内 運動場トイレ改修 工事	バリアフリー改修一式	4,118,400	3.10. 1	3.12.14
上野町 地内	旧沼木中学校避難 所施設整備工事	マンホールトイレ等の 整備一式	16,657,300	3.10. 8	4. 2.18
栗野町 地内	城田中学校災害用 マンホールトイレ 保管庫設置工事	災害用マンホールトイレ 保管庫 1棟	847,000	3.10.15	3.12.13
上野町 地内	(注3) 上野小学校屋内 運動場トイレ改修 工事	バリアフリー改修一式	3,892,900	3.10.29	4. 1.11
一志町 地内	(注3) 厚生小学校屋内 運動場トイレ改修 工事	バリアフリー改修一式	3,455,100	3.11.26	4. 2.22
栗野町 地内	(注3) 城田中学校屋内 運動場トイレ改修 工事	バリアフリー改修一式	4,169,000	3.12.10	4. 2.22
小俣町 相合 地内	(注3) 小俣中学校屋内 運動場トイレ改修 工事	バリアフリー改修一式	7,707,700	3.12.10	4. 2.22
計	22件	—	282,071,900	—	—

(注1) 下水道建設課施行

(注2) 令和2年度から一部繰越

(注3) 営繕課施行

(注4) 令和2年度から繰越

(2) 備品関係

災害用マンホールトイレ備品の購入箇所	金額
佐八小学校、上野小学校、城田中学校、旧沼木中学校 厚生小学校、五十鈴中学校 (注) 早修小学校、小俣中学校 (計8施設)	円 16,074,850

(注) 令和2年度から繰越

2 備蓄倉庫等の整備

災害時に必要な物資を備蓄する倉庫等の基本検討業務を実施した。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市内	(注) 防災備蓄倉庫等 基本検討業務委託	防災備蓄倉庫等基本 検討業務一式	円 8,021,000 【契約額】 11,451,000 [令和2年度] 3,430,000 [令和3年度] 8,021,000	2.11.19	4.3.18

(注) 債務負担行為

○ 防災対策一般経費

1 津波避難施設の維持管理を実施した。

(1) 工事関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着工	完工
神社港 地内	(注) 旧神社小学校避難 階段塗装工事	塗装改修一式	円 4,224,000	3.5.28	3.7.26
東豊浜町 地内	(注) 豊浜東小学校避難 階段塗装工事	塗装改修一式	2,855,600	3.7.9	3.9.6
東大淀町 地内	(注) 東大淀小学校避難 階段塗装工事	塗装改修一式	4,494,600	3.7.9	3.9.6
計	3件	—	11,574,200	—	—

(注) 営繕課施行